

宅建業法主管課のコーナー

鹿児島県 土木部建築課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL 099(286)3707 FAX 099(286)5635

鹿児島県庁ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

○建築課の紹介

当課は、平成18年度に組織改革の一環として、建築本課、営繕室及び住宅政策室がひとつの課に統合され、総勢59名の職員体制となっています。

宅建業の業務は、建築本課管理係の中に2名の職員が配置され、本庁で県内全土を受け持っています。

当県の宅建業の免許業者数は、平成21年3月末時点で、大臣免許3業者、知事免許1,630業者となっており、宅建業者数は、九州管内においては、福岡県に次いで2番目となっています。全国的な傾向と同様、平成3年度をピークに業者数は減少しており、ピーク時の16.2%減となっています。また、宅建業者は、県庁所在地である鹿児島市に全体の55%が集中している状況です。

宅建業務で苦勞する点と言えば、当県は離島が多いことから、予算の関係上、新規事務所調査や離島からの苦情相談に思うように対応できないことです。事務所調査は、例年、秋頃に行っているのですが、台風の時期でもあるため、船が欠航になることもしばしばです。そのため、離島で行われる公共工事の入札に併せて事務所調査をするなどの工夫もしています。

ところで、この10月号が発行される頃は、ちょうど住宅瑕疵担保履行法が施行された後になりますが、当県では、同じ課内にある住宅政策室が、住宅瑕疵担保履行法の普及・啓

発関係を担当し、宅建業者の届出に係る事務については、宅建の担当が行うこととしています。実際、どれ程の届出があるのか、来年4月にならないと分かりませんが、スムーズに対応できるようにしたいと考えております。

○鹿児島のトピックス

当県は、世界自然遺産の屋久島や雄大な桜島、霧島、指宿をはじめとする豊富な温泉など、南北600kmにわたり豊かな自然に恵まれております。歴史、文化、食材など観光資源には事欠きません。特に、「食」の黒豚、黒酢、黒糖焼酎は自信を持ってお勧めできます。

また、10、11月は、秋のイベントが目白押しです。特に、11月2、3日は、南九州最大の祭り「おはら祭り」が開催されます。

さらには、2011年春、九州新幹線鹿児島ルート全線開通が予定されており、それに合わせて全国都市緑化かごしまフェアなど各種イベントも開催されます。

かごつまへいっどおじゃったもんせ!

(鹿児島へ一度お越しください。)



(おはら祭り 総おどり)

宅建業法主管課のコーナー

青森県 県土整備部建築住宅課

〒030-8580 青森県青森市長島1-1-1

TEL 017(734)9692 FAX017(734)8197

青森県庁ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/>

青森県県土整備部建築住宅課について紹介させていただきます。

当課は、宅地建物取引業法を所管する住宅政策グループのほか、建築指導、住宅企画、県営住宅整備、営繕指導の5グループ、31名で構成されています。

宅地建物取引業法に関する免許・指導監督業務は、担当2名を中心に業務を進めています。今年度は、宅地建物取引業者への監督処分基準を改正し、業者の指導監督を強化していく予定です。

平成21年3月31日現在の宅地建物取引業者数は、青森県知事免許が853業者、青森県に本店を有する大臣免許が6業者で、前年度比29業者減となっています。地区別には、青森市、弘前市、八戸市の3市で約70%を占め、組織別では、個人業者が24%、法人業者についても資本金の少額な業者が多数を占めています。

また、宅地建物取引主任者登録者数は4,306人で、うち平成20年度新規登録者数は137人です。

青森県の不動産取引は、県内3市を中心にマンション建設が進んでおりますが、依然として地価が下落し、昨年来の世界同時不況の影響も重なり、不動産投資が停滞しています。

原稿執筆時の8月は、国の重要無形民俗文化財に指定されている「青森ねぶた祭り」、「弘前ねぶた祭り」、「八戸三社大祭」が開催されています。そして、今年度は青森県出身の作家太宰治の生誕100年にあたり、各地で記念イベントが開催されています。

また、2010年12月に控えた東北新幹線全線開業により、東京・新青森駅間が約3時間と飛躍的に短縮されますので、皆様も是非お越し下さい。

